

保護者各位

特定非営利活動法人にじのこ
デイサービスにじのこ

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表アンケート結果のお知らせ

日頃より、当法人の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先日ご協力頂きましたアンケートの集計結果をご報告致します。改善点も含め、支援の質の向上と支援内容の適正化を図るための努力をしておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	4		・ちょっと狭いと思いますが、工夫されています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	1		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	3		・新しい（改装された）場所は見に行っていないのでわからない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	18			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	17	1		・色々なプログラムがあります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	13	2	・必要ないと思う。 ・にじのこバザーで多少交流できる場面があるので充分かと思えます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	7		・バザーや手作り（品制作）に参加すれば保護者同士さらに仲良くなるので、今のままで充分かと思えます。父母の会の活動が負担になることもあるので…。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	3		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	18			
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16			
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1		
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	16			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16			・長期休み時に帰りの時間が早いので不安です。

*利用者 33 名中 18 名提出（項目により無回答あり）

以上の結果をふまえ、職員内で今後の支援の改善が必要だと思われる項目について話し合いました。

チェック項目	対応できている（工夫している）点	改善点、その他
①子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	ソファー・マット・クッションチェア等でお気に入りの居場所を提供し、それぞれがゆったり安心して過ごせるよう工夫をしている。	身体が大きく動きの激しい子と低学年の子が接触して怪我をしないよう、より安全面に配慮していく。
③事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	テラスから庭への出入り用にスロープではないが、正面から階段で降りられるように改修したことで、車椅子や歩行介助の必要な利用者が庭への出入りがしやすくなった。	
⑥放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	地域の小学校にもチラシが配布されているバリアフリーコンサートに参加し、地域との交流の機会を図っている。	
⑩父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	バザー委員会を設置し、保護者との交流の機会を図っている。	（その他）保護者会をつくってほしいという要望は今のところ出ていない。

⑮緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	緊急時対応マニュアルについてはできており配布している。	緊急時対応マニュアルについては周知をより徹底していく。防犯マニュアル・感染症対応マニュアルについては、対応はしているがマニュアル化していないため、これから整備していく。
⑯事業所の支援に満足しているか	介護事業と連携して送迎の部分で個別に対応できるよう検討したり、電車やバス、歩いて通うことで社会性が広がり、コミュニケーション能力や体力がつくことを保護者に伝えたりしている。	長期休みの時間の要望についても、介護事業と連携して個別に対応できるよう検討している。

これらの結果を踏まえて、今後改善すべきである支援の目標を引き続き「利用者がヘルパーとの関係を育みながら社会的な体験を積むことができる送迎の部分をもっと大事にしていく。」としました。長期休暇に関しても、介護事業との連携を図りながら、個別のニーズに応じられるように検討していきたいと思っています。

デイサービスにじのこ給田
 担当 須藤
 TEL 03-3308-5482